

令和4年度

岐阜県高校入試 県内統一模擬試験
岐阜新聞・中学3年学力テスト

第2回
解答解説

数学 解答・解説

【解答】

① (1) -13 (2) $\frac{3V}{a^2}$ (3) 7 (4) $-\frac{2}{3}x$ (5) 157π (6) 82

② (1) 0.16 (2) 3.5 (3) イ, ウ

③ (1) $-2x + 9$ (2) $\frac{12}{5}$

④ (1) 66 (2) $\frac{15}{8}$
(3) (ア) $24x$ (イ) $-6x + 90$ (ウ) $-15x + 135$
(4) $2, \frac{29}{5}$

⑤ (1) $\triangle ABE$ と $\triangle BCG$ において,

四角形 $ABCD$ は正方形だから, $\angle ABE = \angle BCG = 90^\circ \dots \text{①}$
 $AB = BC \dots \text{②}$

また, 仮定より $\angle BFE = 90^\circ$ から,

$$\angle BAE = 180^\circ - (\angle ABE + \angle BEF) = 90^\circ - \angle BEF$$

$$\angle CBG = 180^\circ - (\angle BFE + \angle BEF) = 90^\circ - \angle BEF$$

したがって, $\angle BAE = \angle CBG \dots \text{③}$

①, ②, ③より, 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから,

$$\triangle ABE \cong \triangle BCG$$

(2) $\frac{26}{5}$ (3) 240

⑥ (1) 44

(2) ア. $x^2 - 8x + 16$ イ. $x^2 - 4x + 4$ ウ. $x^2 - 12$

(3) 12

【配点】

① 各 4 点 $\times 6$

計 24 点

② (1), (2) 各 3 点 $\times 2$

(3) 4 点

(3) 順不同, 完答

計 10 点

③ 各 5 点 $\times 2$

計 10 点

④ (1), (2), (3) 各 3 点 $\times 5$

(4) 5 点

(4) 順不同, 完答

計 20 点

⑤ (1) 10 点

(2), (3) 各 4 点 $\times 2$

計 18 点

⑥ (1), (2) ア 各 3 点 $\times 2$

(2) イ, ウ, (3)

各 4 点 $\times 3$

計 18 点

【解説】

① 小問集合

(1) $3 - (-2)^4 = 3 - 16 = -13$

(2) $V = \frac{1}{3}a^2h$ の両辺を 3 倍して, $3V = a^2h$, $a^2h = 3V$, $h = \frac{3V}{a^2}$

(3) $(\sqrt{3} + 2)^2 - \frac{12}{\sqrt{3}} = 3 + 4\sqrt{3} + 4 - \frac{12 \times \sqrt{3}}{\sqrt{3} \times \sqrt{3}}$
 $= 7 + 4\sqrt{3} - \frac{12\sqrt{3}}{3} = 7 + 4\sqrt{3} - 4\sqrt{3} = 7$

(4) 比例の式を $y = ax$ とおくと, グラフが点 $(-6, 4)$ を通ることから, $x = -6$, $y = 4$ を代入して,

$$4 = -6a \text{ より, } a = -\frac{2}{3} \text{ よって, } y = -\frac{2}{3}x$$

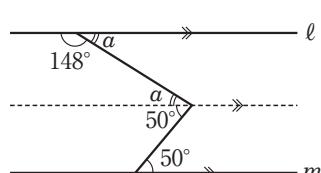
(5) できる立体は, 底面の半径が 5 cm , 高さが 7 cm の円柱から, 底面の半径が 3 cm , 高さが 2 cm の円柱をくりぬいた立体なので, 体積は, $\pi \times 5^2 \times 7 - \pi \times 3^2 \times 2 = 175\pi - 18\pi = 157\pi (\text{cm}^3)$

(6) 図のように, 2 直線 ℓ , m と平行な直線をひくと,

$$\angle a = 180^\circ - 148^\circ =$$

32° 平行線の錯角が等しいことから,

$$\angle x = \angle a + 50^\circ = 82^\circ$$



② 資料の整理と活用

(1) $32 \div 200 = 0.16$

(2) 高校生 300 人の第 3 四分位数は, 利用時間が短い方から数えて 225 番目と 226 番目の生徒の平均値になる。225 番目と 226 番目の生徒はともに 3 時間以上 4 時間未満の階級に含まれているので, 第 3 四分位数も 3 時間以上 4 時間未満の階級に含まれるため, その階級値は $\frac{3 + 4}{2} = 3.5$ (時間) になる。

(3) ア 中央値が含まれる階級は, 中学生では 1 時間以上 2 時間未満, 高校生では 2 時間以上 3 時間未満の階級であるから誤り。

イ 最頻値は, 中学生も高校生も 1.5 時間なので正しい。

ウ 利用時間が 2 時間未満の人は, 中学生では 142 人, 高校生では 144 人で, その割合はそれぞれ $142 \div 200 = 71\%$, $144 \div 300 = 48\%$ なので, 中学生のほうが高い。よって, 正しい。

エ 中学生と高校生をあわせた 500 人のうち, 利用時間が 4 時間以上の人には $10 + 4 + 21 + 15 = 50$ (人) いるから, その割合は, $50 \div 500 = 0.1 = 1$ 割である。よって, 誤り。

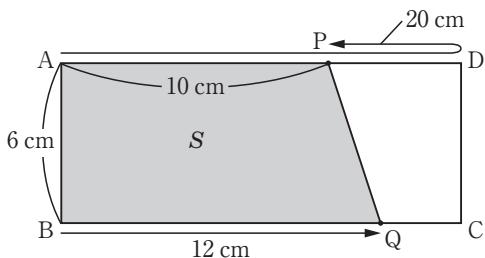
③ 1次方程式

$$(1) \begin{vmatrix} 3 & 5 \\ x-3 & x-2 \end{vmatrix} = 3(x-2) - 5(x-3) = 3x - 6 - 5x + 15 = -2x + 9$$

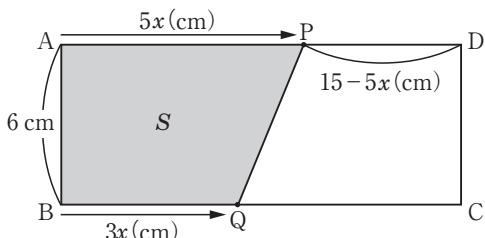
(2) 方程式 $-2x + 9 = \frac{1}{2}x + 3$ を解けばよい。方程式の両辺を 2 倍して, $-4x + 18 = x + 6$, $-5x = -12$ よって, $x = \frac{12}{5}$

④ 1次関数

(1) 4 秒後, 点 P は $5 \times 4 = 20$ (cm), 点 Q は $3 \times 4 = 12$ (cm) 進んでいるから, 2 点 P, Q の位置は図のようになり, S の面積は, $\frac{1}{2} \times (10 + 12) \times 6 = 66$ (cm²)

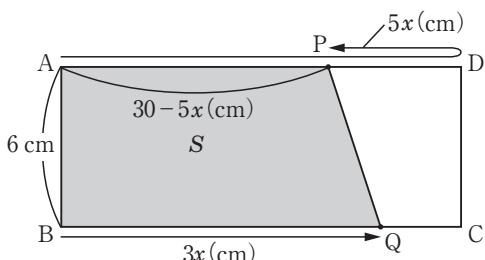


(2) 初めて $DP = BQ$ となるのは, 点 P が A から D へ動いているときである。2 点 P, Q が出発してから x 秒後とすると, 2 点 P, Q の位置は図のようになり, $DP = 15 - 5x$ (cm), $BQ = 3x$ (cm) から, $15 - 5x = 3x$ より, $x = \frac{15}{8}$

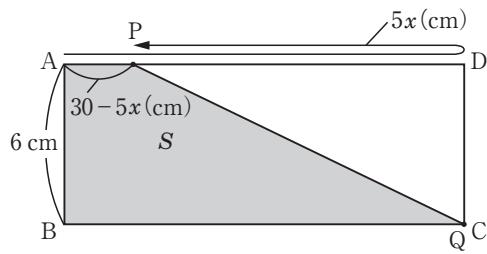


(3)(P) $0 \leq x \leq 3$ のとき, (2)の図より, $y = \frac{1}{2} \times (5x + 3x) \times 6 = 24x$

(イ) $3 \leq x \leq 5$ のとき, 図より, $y = \frac{1}{2} \times \{(30 - 5x) + 3x\} \times 6 = -6x + 90$



(ウ) $5 \leq x \leq 6$ のとき, 図より, $y = \frac{1}{2} \times \{(30 - 5x) + 15\} \times 6 = -15x + 135$



(4) $0 \leq x \leq 3$ のとき, $24x = 48$ より, $x = 2$ ($0 \leq x \leq 3$ を満たす)

$3 \leq x \leq 5$ のとき, $-6x + 90 = 48$ より, $x = 7$ ($3 \leq x \leq 5$ を満たさない)

$5 \leq x \leq 6$ のとき, $-15x + 135 = 48$ より, $x = \frac{29}{5}$ ($5 \leq x \leq 6$ を満たす)

よって, 2 秒後と $\frac{29}{5}$ 秒後

⑤ 三角形と四角形

(1) (解答を参照)

(2) (1)から, $\triangle ABE \cong \triangle BCG$ より, $\triangle ABE = \triangle BCG = \frac{1}{2} \times BC \times CG = \frac{1}{2} \times 8 \times 6 = 24$ (cm²)
 $AE = BG = 10$ cm から, $\frac{1}{2} \times AE \times BF = 24$ より,
 $BF = \frac{24}{5}$ cm となる。

よって, $FG = BG - BF = 10 - \frac{24}{5} = \frac{26}{5}$ (cm)

(3) $\triangle ABE \cong \triangle BCG$ から, $BG = AE = AF + FE = 12 + 8 = 20$ (cm) より, $\triangle ABG = \frac{1}{2} \times BG \times AF = \frac{1}{2} \times 20 \times 12 = 120$ (cm²) $\triangle ABG$ の面積は正方形 ABCD の面積の半分なので, 正方形 ABCD = $120 \times 2 = 240$ (cm²)

⑥ 総合問題

(1) 立方体が, 一番上の段には, $2^2 = 4$ (個), 真ん中の段には, $4^2 = 16$ (個), 一番下の段には, $6^2 - 3 \times 4 = 36 - 12 = 24$ (個) があるので, 全部で, $4 + 16 + 24 = 44$ (個)

(2) それぞれの段ごとに立方体の個数を数えると, 一番上の段には, $(x - 4)^2 = x^2 - 8x + 16$ (個), 真ん中の段には, $(x - 2)^2 = x^2 - 4x + 4$ (個), 一番下の段には, $x^2 - 3 \times 4 = x^2 - 12$ (個) ある。

(3) (2)より, 2 回目の操作後に残る立方体の個数は, $(x^2 - 8x + 16) + (x^2 - 4x + 4) + (x^2 - 12) = 3x^2 - 12x + 8$ (個) よって, $3x^2 - 12x + 8 = 296$ $x^2 - 4x - 96 = 0$ $(x + 8)(x - 12) = 0$ $x \geq 5$ より, $x = 12$

英語 解答・解説

【解答】	【配点】
① 1 (1) ウ (2) エ (3) イ (4) エ (5) エ 2 (1) ① nine ② letters ③ trains (2) ウ	① 各 3 点 × 9 = 27 点 計 27 点
② 1 useful 2 ア 3 (1) エ (2) ア	② 各 3 点 × 4 = 12 点 計 12 点
③ 1 イ 2 more 3 ウ	③ 各 4 点 × 3 = 12 点 計 12 点
④ 1 ウ 2 ア 3 イ 4 ウ 5 (1) No, (he) hasn't. (2) (Because he didn't) like country life. 6 エ 7 ③ working ④ faces	④ 各 3 点 × 9 = 27 点 計 27 点 ⑤ 各 4 点 × 2 = 8 点 計 8 点
⑤ 1 listening to English songs is good 2 important for us to get ⑥ ① (例) became a traditional Japanese event ② (例) is held in July every year ③ (例) (I want to go to B because) the event is popular among young people. I want to enjoy music with my friends.	⑥ ①, ② 各 4 点 × 2 = 8 点 ③ 6 点 計 14 点

【解説】

① リスニング

- 1 (3) ニックと絵里が偶然図書館で出会った場面。絵里が読むのが止まらないようなおもしろい本を見つけたと言っているのに対して、イ「本当に? ぼくも読んでみたいな。」が適切。
- (4) 第3文「私はカナダに滞在し、11か月間その高校で勉強しました。」、第5文「すべての授業がおもしろかったですが、音楽の授業がいちばん好きでした。」、第6文「私はよく放課後、友だちと一緒にバスケットボールをしました。」から、エが適切。
- (5) ひなたの2番目の発言「この春、彼(=ユウト)は中学生になりますが、彼は学校では科学クラブに入りたいと思っています。」から、エ「ユウトは中学生になったら、科学クラブに入りたいと思っています。」が適切。
- 2 (2) アは「晴斗は母親と一緒に岐阜の祖父を訪ね、1週間滞在しました。」という意味。祖父が住んでいるのは、北海道なので、誤り。イは「晴斗は動物の写真を撮るために、よく祖父と山や動物園に行きます。」という意味。晴斗がよく一緒に写真撮影に出かけるのは父親なので、誤り。ウは「晴斗は5年前に祖父に会い、それ以来会っていません。」という意味。第3段落の1文目に一致。エは「晴斗は今日、インターネットで新しいカメラを買って、それをとても気に入っています。」

という意味。晴斗は祖父からもらったカメラを気に入っている、新しいカメラを買ったという発言はないので、誤り。

② 短文読解

- 1 useful = 「役に立つ」
- 2 「母はぼくたちをスタジアムに連れていくことができません」に続く内容として、ア「だから、ぼくたちは自転車でそこへ行く必要があります」が適切。
- 3 (1) 質問文は「アサミとメグはレッスンの間、何語を話すことができます。」という意味。アサミとメグの3番目の発言から、2人が「インドのダンス」に参加することがわかる。したがって、ポスターから、エ「彼女たちは英語と日本語の両方を使うことができます。」が適切。
- (2) 質問文は「どれが本当ですか。」という意味。ポスターからイベントが行われるのは金曜日だとわかる。アサミの最初の発言から、2人はその前日に会話をしていることがわかるので、ア「アサミとメグは木曜日に会話をしています。」が適切。

③ グラフや表を用いた長文読解

【全訳】

最近、日本の中高生はあまりたくさんの本を読まないとされています。日本の学生は月にどれくらいの本を読むのでしょうか。この表はそのことを教えてくれます。小学生は中高生よりもたくさんの本を読みました。過去5年間

の平均で、小学生は月に約11冊の本を読みましたが、中学生は約4.6冊の本を読みました。高校では、生徒は2冊未満の本しか読んでいませんでした。

なぜ中高生は少ししか本を読まないのでしょうか。このグラフを見てください。生徒の50パーセント以上が「本を読む必要がない」と答えました。「どんな本を読んだらよいかわからない」が次に来ます。3番目と5番目の理由は「勉強やクラブ活動が原因で本を読む時間がない」と「友だちと会うことや趣味が原因で本を読む時間がない」でした。6番目の理由は「本を買うお金がない」でした。もし本を読めば、人生におけるたくさんのこと学ぶことができます。

ぼくは本が好きで、本を読むことが楽しいことだと思っているので、学生にもっとたくさんの本を読んでほしいと思っています。学級図書を作つてみるのはどうでしょうか。そうすれば、休み時間や放課後に本を読むことができます。学校の図書館に、生徒のためにもっとたくさんのおもしろい本を入れてくれるよう頼むこともできます。学校の図書館の本の中には読むのが難しいものもあると思います。あるいは、「フェイバリットブックスピーチ」をするというはどうでしょうか。生徒が自分たちの大好きな本についてスピーチをするのです。スピーチを聞いた後で、生徒がいちばんよい本を選びます。ほかに何かアイデアはありますか。

1 本文第2段落の5文目に「3番目と5番目の理由は『勉強やクラブ活動が原因で本を読む時間がない』と『友だちと会うことや趣味が原因で本を読む時間がない』でした。」とあるので、□に入るのは、イ。

2 表から「小学生は中高生よりもたくさんの本を読みました。」とすると文脈に合う。したがって、第3段落1文目にあるmoreが適切。

3 ア 「中学生は平均して、高校生ほどたくさんの本を読みませんでした。」第1段落5、6文目から、平均読書冊数は中学生が約4.6冊、高校生が2冊未満であることがわかるので、誤り。

イ 「翔太は、本を読むことが好きなので、彼は学生に本についての彼のスピーチを聞いてほしいと思っています。」第3段落1文目に「ぼくは本が好きで、本を読むことが楽しいことだと思っているので、学生にもっとたくさんの本を読んでほしいと思っています。」とあるので、誤り。

ウ 「翔太は、学級図書を作れば、生徒たちが放課後に本を読むことができると思っています。」第3段落2、3文目に一致。

エ 「翔太は、学校の図書館が『フェイバリット

ブックスピーチ』イベントを実施して、いちばんよい本を選ぶことを知っています。」第3段落6～8文目参照。翔太は、「フェイバリットブックスピーチ」を実施して、いちばんよい本を選ぶことを提案しているが、図書館が実際にそのようなイベントを実施するという記述はないので、誤り。

④ 長文読解

【全訳】

ぼくの町では、農業が主要な産業で、多くの人が農業に従事しています。ぼくの家族も大きな畑で野菜を栽培しています。ぼくは自分の両親を尊敬していますが、両親の仕事には興味がありません。

ある日学校で、ぼくは高橋先生と将来の職業について話をしました。先生は「あなたは高校を卒業したら何をしたいですか。」とたずねました。ぼくは「ぼくはいなかの生活が好きではありません。だから、大都市の大学に行きたいと思います。」と言いました。すると、高橋先生は「あなたはそこで何を勉強したいのですか。」とたずねました。ぼくは「まだ決めていませんが、大学を卒業したら、大都市で働きたいと思います。」と言いました。高橋先生は「あなたはご両親の仕事に興味はありますか。」とたずねました。ぼくは「えーと、興味はないと思います。ぼくは大都市で何かをしたいと思います。」と答えました。高橋先生は「夏休みの間に、たくさんのこと挑戦して、自分の将来について考えなさい。」と言いました。

8月のある日、ぼくが居間でテレビを見ていると、父がぼくに「拓真、ベトナムからあるグループが私たちの町にやって来る。男の子が1人、我が家に3日間滞在することになるよ。彼は日本の農家の仕事にとても興味があるんだ。拓真、彼と一緒に仕事をしてみないか。」と言いました。

8月の金曜日の夕方、父が車で、ベトナムから来た男の子を我が家に連れてきました。彼の名前はサムでした。ぼくの家族は彼のことを歓迎しました。その翌日、サムとぼくは両親の畑に行き、トマトやキュウリのようなたくさんの種類の野菜を摘みました。ぼくたちは一緒に作業を楽しみました。サムが「これらの野菜はすばらしいね。」と言いました。ぼくには彼の気持ちがわかりました。ぼくたちは顔に笑みを浮かべました。

夕食の間、サムが「ぼくは将来、農家になりたいと思っています。世界中の人たちのためにおいしい野菜を栽培したいんです。」と言いました。そして、サムはぼくに「きみは将来、何になりたいの。きみの両親のような農家になりたいのかい。」とたずねました。ぼくは「まだ決めていないんだ…。」と答えました。ぼくはうまく答えることが

できませんでした。サムが「きみの両親のように農家として働いたらどうだい。きみの家族にはすばらしい畑があるじゃないか。野菜もおいしかったよ。畑で作業しているとき、きみはとても楽しそうだったよ。きみは農家の仕事が大好きなんだと思ったよ。違うかい。」と言いました。ぼくは何も言いませんでしたが、心の中では農家の仕事が大好きなんだとわかつていました。サムがベトナムに帰国した後、夏休みの残りの期間、ぼくは両親を手伝いました。

9月のある日、高橋先生が「夏休み中に、将来のことを考えましたか、拓真。」とたずねました。ぼくは「はい。自分の将来について考えるよい機会がありました。ぼくは農家の仕事に興味を持つようになりました。それはおもしろいのですが、ぼくの選択肢の1つです。将来、ぼくは何かを作り、それで人々を幸せにしたいと思います。まだ何をしたらよいかわからぬので、それを見つけるためにたくさんのこと挑戦したいと思います。」と答えました。

1 テレビを見ている拓真に父親が話しかけている場面は第3段落で、拓真とサムと一緒に野菜の収穫をしている場面は第4段落で、サムが拓真の家族と一緒に夕食を食べている場面は第5段落で、それ述べられている。したがって、ウが適切。

2 下線部の直後に、「ぼくたちは顔に笑顔を浮かべました。」とあるので、アが適切。

3 空所の直前に「ぼくはまだ何をしたらよいかわからぬません」とあるので、イ「それを見つけるためにたくさんのこと挑戦したいと思います」を続けると文脈に合う。it = what to do を指す。

4 質問文は「サムは将来、何をしたいですか」という意味。第5段落1, 2文目参照。ウ「彼は農家として、世界中の人々のためにおいしい野菜を栽培したいと思っています。」が適切。

5 (1) 質問文は「拓真は幼い子どものころから、自分の両親の仕事に興味がありましたか。」という意味。第1段落3文目と第2段落7, 8文目参照。拓真は、両親を尊敬しているが、彼らの仕事に興味がないと述べている。また、高橋先生に両親の仕事に興味があるかとたずねられた際に、「興味はないと思います。」と答えている。

(2) 質問文は「拓真はなぜ、大都市の大学に行こうと考えたのですか。」という意味。第2段落の3, 4文目を参照。

6 ア「拓真は、夏休み前に高橋先生と話をしたときに、農家になろうと決意しました。」第2段落で、拓真は、高橋先生と夏休み前に将来の話をしたときには、農業には興味がないと答えているので、

誤り。

イ「8月に、ベトナムからやって来たあるグループが拓真の学校を訪れ、彼の家に3日間滞在しました。」第3段落1文目から、ベトナムから来たグループは拓真の学校ではなく、拓真の町を訪れたことがわかるので、誤り。

ウ「サムは彼の両親の畑に行って、トマトやキュウリのようなたくさんの野菜を摘みました。」第4段落4文目から、サムは拓真の両親の畑で野菜を摘んだことがわかるので、誤り。

エ「拓真は、サムと将来の職業について話をしたときに、自分が農家の仕事が大好きだとわかつていました。」第5段落の12文目「ぼくは何も言いませんでしたが、心の中では農家の仕事が大好きなんだとわかつっていました。」に一致する。

オ「拓真は、将来の仕事について、再度先生にたずねられたとき、農家になろうと決意しました。」第6段落で、拓真は、農業に興味を持つようになりました、将来の選択肢の1つだと述べているが、農家になろうと決意したとは述べていないので、誤り。

7 ③「ぼくはきみと一緒に働くのを楽しみました。」enjoyのうしろに動詞を続ける場合は、動名詞(~ing)にする。

④「ぼくはそれらを使って人々の笑っている顔を見たいと思います。」

⑤ 語順整序

1 「ぼくは、あなたにとって、英語の歌を聞くのがよいと思います。」という意味の文。listening to English songs「英語の歌を聞くこと」を I think (that) ~の that 節の主語にする。

2 「私たちにとって十分な睡眠をとることは大切なことです。」という意味の文。It is ... for — to ~. で「一にとって~することは…だ」という意味を表す。Itはto 以下を指す形式的な主語なので「それは」と訳さない。

⑥ 英作文

①「伝統的な日本の行事」は、traditional Japanese eventで表す。

②「開催される」は受け身を用いて、is heldとする。

③ AとBのどちらかを選び、becauseに続けて、その理由を、具体的に確実に書ける文法や語句を使ってまとめる。

岐阜新聞・中学3年学力テスト 第2回 放送台本

1 これから短い英文を読みます。英文は(1)から(5)まで5つあります。それぞれの英文を読む前に、日本語で内容に関する質問をします。その質問に対する答えとして最も適切なものを、アからエから1つずつ選び、符号で書きなさい。なお、英文は2回ずつ読みます。

(1) これから読む英文は、瑞希(Mizuki)が、午後の予定について説明しているときのものです。瑞希の午後の予定はどれでしょう。

I have four things to do this afternoon. I will study before dinner. And I will help my mother after I watch TV.

(2) これから読む英文は、亮太(Ryota)が、通学手段を説明しているときのものです。英文の内容を正しく表しているものはどれでしょう。

I go to school by bike every morning. But yesterday, I went to school by car because it was snowing. If it's rainy tomorrow, I will walk to school.

(3) これから読む英文は、ニック(Nick)と絵里(Eri)との会話です。その会話の最後で、ニックがひとこと付け加えるとすると、どの表現が最も適切でしょう。なお、ニックがひとこと付け加えるところで、チャイムが鳴ります。

Nick : Hi, Eri. I'm surprised to see you here.

Eri : I'm surprised to see you too, Nick.

Nick : Do you often come here?

Eri : Yes. I like reading books. I came to this library yesterday, too. How about you?

Nick : It's my first time to come here. Did you find any nice books?

Eri : Yes, I found a very interesting book about history. I couldn't stop reading it.

Nick : (チャイムの音)

(4) これから読む英文は、さくら(Sakura)のスピーチです。スピーチの内容を正しく表しているものはどれでしょう。

Hi, everyone. I came back to Japan from Canada on March 25. I stayed in Canada and studied at a high school there for eleven months. There were seven hundred students in the school, and there were many students from foreign countries. All the classes were interesting, but I liked the music class the best. I often played basketball with my friends after school. Thank you.

(5) これから読む英文は、ジョシュ(Josh)とひなた(Hinata)との会話です。会話の内容を正しく表しているものはどれでしょう。

Josh : Hinata, what did you do last weekend?

Hinata : Well, I went to the science museum with my brother, Yuto.

Josh : That's nice! How old is your brother?

Hinata : He's twelve years old. This spring he will be a junior high school student and he wants to join the science club at school.

Josh : That's wonderful! What is he interested in?

Hinata : He often looks at the stars. He would like to know more about them.

2 これから読む英文は、晴斗(Haruto)が、カメラについて、英語の授業でスピーチをしているときのものです。この英文を聞いて、(1), (2)の問い合わせに答えなさい。なお、英文は2回読みます。英文を聞く前に、まず、(1), (2)の問い合わせを読みなさい。では、始めます。

Hello. I'm Haruto. I'm going to talk about my camera. When I was nine, I visited my grandfather in Hokkaido with my mother. We stayed there for seven days. At that time, he gave the camera to me.

In Gifu, my father often takes me to mountains and zoos. I enjoy taking many pictures of flowers and animals.

I haven't seen my grandfather for five years. So, I sometimes write a letter to him. I send pictures with my letter. Of course, I use the camera. When he gets my letter, he always calls me. I'm glad to talk with him.

Today, we can buy many kinds of cameras at shops and on the Internet. However, I love my camera. I'm going to go to Nagoya Station to take pictures of trains next weekend. My grandfather loves trains. I'll use my camera for a long time and send many pictures to him.

理科 解答・解説

【解答】

- ① 1 (1) イ (2) a イ b ア, ウ
2 (1) 1200 (2) エ

選択問題A 3 (1) ウ (2) 交流

4 (1) イ (2) イ

選択問題B 3 (1) ① 0.8 ② 仕事の原理 (2) ア
4 (1) ア (2) 力

② 1 (例)(沸騰石を入れて)加熱する。

2 対照実験 3 イ

4 (1) アミラーゼ (2) すい液 (3) ブドウ糖

5 エ 6 ウ

③ 1 ウ 2 エ

3 4Ag, O₂ 4 14.5

5 (1) ア (2) ア 6 (1) 水 (2) 4

7 ウ

④ 1 震央 2 イ

3 エ 4 20

5 イ 6 ア

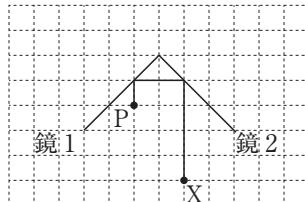
7 (1) イ (2) ア

⑤ 1 25 2 ウ

3 右図 4 鏡1 1 鏡2 2

5 8 6 ア

7 エ



【解説】

① 小問総合

- 1 (1) コウモリのつばさとヒトのうでの骨格のように、はたらきは異なるが、同じものから変化したと考えられる部分を相同器官という。

2 (1) $1.8 \text{ kg} \rightarrow 18 \text{ N} \quad 150 \text{ cm}^2 = 0.015 \text{ m}^2$

$$\text{圧力} [\text{Pa}] = \frac{\text{面を垂直におす力} [\text{N}]}{\text{力が加わる面積} [\text{m}^2]} \text{ より, } 18 \div 0.015 = 1200 [\text{Pa}]$$

- (2) 山頂はふもとより気圧が低い。よって、山頂でふたをした空のペットボトルをふもとへ移動させると、ペットボトル内の気圧よりも周囲の大気圧の方が大きくなるため、ペットボトルはおされてへこむ。

【選択問題A】

- 3 (1) 電力[W] = 電圧[V] × 電流[A]により、表の電気製品を 100 V の電源につないだときに流れる電流は、電気ストーブ 9 A, パソコン 1.5 A, ドライヤー 12 A, 加湿器 3.3 A。ドライヤーと加湿器の同時使用は、15.3 A, パソコンとドライヤーは 13.5 A, 電気ストーブと加湿器は 12.3 A の電流が流れるので、テーブルタップに流れる電流の限度は、15.3 A と 13.5 A の間の値だと分かる。

- (2) 交流は送電しやすく、変圧器で電圧を変えられるため、家庭用の電源に利用されている。

【配点】

① 各 2 点 × 8 = 16 点

1 (2), B 3(1) それぞれ完答

計 16 点

② 4 各 2 点 × 3 = 6 点

他 各 3 点 × 5 = 15 点

計 21 点

③ 6, 7 各 2 点 × 3 = 6 点

他 各 3 点 × 5 = 15 点

3, 5 それぞれ完答

計 21 点

④ 各 3 点 × 7 = 21 点

7 完答

計 21 点

⑤ 各 3 点 × 7 = 21 点

4 完答

計 21 点

- 4 (1) 表の水溶液を分類すると、アルカリ性は、うすい水酸化ナトリウム水溶液、石灰水、アンモニア水の 3 つ。酸性は、酢、うすい塩酸の 2 つ。中性は、砂糖水、食塩水の 2 つ。フェノールフタレン液を加えると赤色になるのはアルカリ性の水溶液なので a = 3。赤色リトマス紙の色をえないのは中性と酸性の水溶液で、b = 2 + 2 = 4。pH は 7 が中性で、7 より小さいのは酸性なので、c = 2。よって、b > a > c となる。

- (2) アルカリ性の性質を示すイオンは水酸化物イオン(OH⁻)で、これは陰イオンなので電圧を加えると陽極側に移動する。

【選択問題B】

- 3 (1) 仕事[J] = 力の大きさ[N] × 力の向きに動かした距離[m] より、4 × 0.2 = 0.8[J]。動滑車を使うと手がひもを引く力は半分になるがひもを引く距離が 2 倍になるので、手がする仕事の大きさは ① と変わらない。

- (2) 仕事率[W] = $\frac{\text{仕事} [\text{J}]}{\text{仕事に要した時間} [\text{s}]}$ より、a = $\frac{0.8}{2} = 0.4 [\text{W}]$, b = $\frac{0.8}{4} = 0.2 [\text{W}]$ で、a が b の 2 倍になる。

- 4 (1) グラフから、80°Cのときの塩化ナトリウムの溶解度は約 40 g。比例式を利用すると、すべてと

かすのに必要な水の質量は、 $100 : 40 = x : 45$
 $x = 100 \times 45 \div 40 = 112.5$ [g]。加える水は、
 $112.5 - 100 = 12.5$ [g]より、最も近いものはア。

(2) 100 g の水にとける物質の質量が 45 g のときの
温度をそれぞれ読み取り、温度の高い順に並べる。

② 消化と吸収

- 1 ベネジクト液は水色で、麦芽糖(ブドウ糖が2つつながったもの)をふくむ溶液に加えて加熱すると赤褐色の沈殿ができる。
- 3 ②の対照実験では、だ液の有無だけを変える。そのため、だ液のかわりに水を 2 cm³ 入れる。水ではデンプンは変化しないので、試験管Xの溶液はヨウ素液と反応して青紫色に変化し、試験管Yでは反応は起こらない。
- 4 デンプンはブドウ糖がたくさんつながった物質で、いくつかの消化酵素のはたらきで最終的にブドウ糖にまで分解される。
- 5 図3のPは毛細血管、Qはリンパ管。リンパ管に吸収された脂肪は、リンパ管が血管と合流したあと、血液によって全身に運ばれる。アミノ酸とブドウ糖は毛細血管に吸収される。
- 6 肝臓ではアミノ酸の一部がタンパク質に変えられ、ブドウ糖の一部はグリコーゲンに変えられてたくわえられる。

③ 物質の分解

- 2 酸化銀が熱によって分解されて、試験管内には銀が残る。銀は金属なので、こすると光沢が出る、たたくと広がる、引っ張ると延びる、電流や熱を通しやすい、など、金属に共通する性質を示す。
- 3 銀は単体で分子をつくらない。酸素は2個の原子が結びついて分子をつくっている。
- 4 実験1から、2.9 g の酸化銀が分解して、 $2.9 - 2.7 = 0.2$ [g]の酸素が発生したと分かる。よって、1.0 g の酸素を得るために必要な酸化銀は、 $2.9 \times (1.0 \div 0.2) = 14.5$ [g]
- 5 炭酸水素ナトリウムの熱分解によってできる物質は、炭酸ナトリウム、水、二酸化炭素の3つ。加熱後の試験管Cに残った物質は炭酸ナトリウムで、炭酸水素ナトリウムより水にとけやすく、その水溶液は強いアルカリ性を示す。
- 6 炭酸水素ナトリウムの化学式は、NaHCO₃で、ナトリウム Na、水素 H、炭素 C、酸素 O の原子が結びついていることを表している。
- 7 アは鉄と硫黄が結びついて硫化鉄ができる化学変化。イは酸化銅が還元されて銅ができる、炭素が酸化して二酸化炭素ができる。ウは水の電気分解により、酸素と水素が発生する。水酸化ナトリウム水溶液は電流を通しやすくするために加えるだけで、反応には関係しない。エは蒸留の操作で、状態変化が起こる。

④ 地震

- 1 地下で岩石の破壊が始まった点を震源といい、その真上の地表の点を震央という。

2 初期微動継続時間の長さは震源からの距離に比例する。グラフでは、震源から 60 km の地点の初期微動継続時間が 5 秒、120 km の地点は 10 秒と読みとれる。よって、震源から 100 km の地点では、
 $5 \times (100 \div 60) = 8.33\cdots$ [秒]

3 観測地点Aの初期微動継続時間は 4 秒。震源からの距離は、 $60 \times (4 \div 5) = 48$ [km]。グラフから、この地震の P 波の速さは、 $120 \div 20 = 6$ [km/s]。震源から観測地点Aまで P 波が届くのにかかる時間は、
 $48 \div 6 = 8$ [秒]。地震が始まった時刻は、16 時 32 分 19 秒 - 8 秒 = 16 時 32 分 11 秒

4 $30 \div 6 + 5 = 10$ [秒]により、緊急地震速報が発信されたのは、16 時 32 分 11 秒 + 10 秒 = 16 時 32 分 21 秒。観測地点Bに S 波が到達したのは、表より、16 時 32 分 41 秒。よって、速報と S 波の到達時刻の差は、 $41 - 21 = 20$ [秒]

5 震度は 0 から 7 までの 10 段階あり、アは震度 2、ウは 6 弱、エは 6 強の状況を示している。

6 X はフィリピン海プレート、Y は太平洋プレートで、どちらも陸のプレートに向かって動いている。

7 海のプレートに引きずられた陸のプレートがゆがみ、限界に達するとはね上がって大きな地震を起こす。

⑤ 光の進み方

- 1 屈折角は、屈折した光と面に垂直な線との間の角度なので、 $90 - 65 = 25$ [度]
- 2 矢印の向きに回転させると平らな面と入射光が近くなり、入射角は大きくなる。入射角が大きくなるのにもなって屈折角も大きくなる。
- 3 反射の法則により、鏡に入射した光は入射角と反射角が等しくなるように反射して進む。図4では、光は鏡1、2のいずれにおいても、入射角と反射角がそれぞれ 45 度になるように鏡で反射して X に届く。
- 4 鏡1、2をそれぞれ対称の軸として、点Pを線対称に移動した点をとる。とった2つの点は、それぞれ鏡1、2にうつる像の位置を表し、鏡に1回だけ反射して点Xに届く光によって見える像である(2つの点と、点Xをそれぞれ結べば、光の反射する点も分かる)。また、3で作図したように、鏡1、2の順に2回反射して点Xに届く光があり、鏡2にはそれによってできる像もうつって見える。
- 5 焦点距離の2倍の位置にある光源の像は、凸レンズをはさんだ対反側の焦点距離の2倍の位置にできる。このとき、像の大きさは実物と同じになる。表から、点Bが焦点距離の2倍の位置だと分かるので、焦点距離は 8 cm。
- 6 光源を焦点距離の2倍の位置から凸レンズに近づけると、像ができる位置は遠ざかり、実物より大きな像ができる。スクリーン上にできる像は、どの位置にあっても実物と上下左右が逆向きになる。
- 7 光軸に平行に進む光は、凸レンズで屈折して焦点に進む。凸レンズの中心を通った光は、そのまま直進する。

社会 解答・解説

【解答】	【配点】
<p>① 1 イ 2 仮名(文字) 3 惣 4 ウ 5 寺子屋 6 ア 7 (1) イ (2) (例) 松平定信が行う政治による統制が厳しい (3) 工 8 富国強兵 9 ア→ウ→イ 10 工 11 国家総動員法</p> <p>② 1 アイヌ(の人たち) 2 イ 3 ア 4 (1) ア (2) (例) 広大な排他的経済水域を失う 5 工 6 フォッサマグナ 7 イ 8 ウ 9 加工貿易 10 近郊農業 11 イ</p> <p>③ 1 ア 2 分業 3 イ 4 工 5 工→ア→ウ→イ 6 ウ 7 多文化共生 8 国民主権 9 (1) ア (2) 公共の福祉 10 非核三原則 11 (例) 内閣の助言と承認 12 ウ</p>	<p>① 1, 2, 5, 6, 7(3), 8 各2点×6 3, 4, 7(1), 9, 10, 11 各3点×6 7(2) 4点 計34点</p> <p>② 1, 2, 3, 11 各2点×4 4(1), 5, 6, 7, 8, 9, 10 各3点×7 4(2) 4点 計33点</p> <p>③ 1, 2, 4, 8, 9(1), 10, 12 各2点×7 3, 5, 6, 7, 9(2) 各3点×5 11 4点 計33点</p>

【解説】

① 歴史総合(古代～近代)

- 律令制のもとで人々が負担した税としては、特産物を納める調のほか、収穫量の約3%の稻を納める租、労役10日の代わりに麻布を納める庸がある。また、九州北部や対馬などの島々を防衛する防人は、食料などを自分で用意しなくてはならなかつたので、負担が非常に重かった。
- 平仮名は漢字をくずしたもの、片仮名は漢字の一部をとつて作られたものである。日本語の発音を表せるように工夫した仮名文字は、感情を書き表しやすかつたことから、仮名文字がつくられた平安時代には、紫式部の「源氏物語」、清少納言の「枕草子」などの優れた文学作品が生み出された。
- 惣は室町時代に作られた自治組織である。室町時代は、武士から庶民までが「自分たちのことは、自分たちの力で解決する」という考え方によって行動するようになった時代である。
- 「ヲキメ」とは借金のことである。
- 寺子屋とは、町や農村に開かれた庶民の子どものための教育施設で、「読み・書き・そろばん」などの実用的な知識や技能が教えられた。
- 化政文化は、19世紀初めに、庶民をにない手として江戸で栄えた文化である。近松門左衛門は元禄期に活躍した人形浄瑠璃の作家で、「曾根崎心中」などの作品を残した。
- (1) 「田沼」とは、老中の田沼意次である。田沼意次は、年貢だけに頼る従来の政策を転換し、商業を活性化させることで財政の立て直しを図ろうと考え、株仲間の結成を積極的に奨励する代わりに税を納めさせた。アとウは徳川吉宗、工は松平定

信が行った政策である。

- (2) 松平定信がかつて白河藩主だったことから、狂歌の中で「白河」とよまれている。松平定信が行った寛政の改革の統制は非常に厳しく、人々の反感を買った。
 - (3) ハリスが江戸幕府に通商条約を結ぶことを強く求めたことから、1858年に日米修好通商条約が締結された。
 - 富国強兵のスローガンのもと、「富国」を実現するために殖産興業政策を進め、産業を育てて経済の資本主義化を図った。
 - アは1933年、イは1937年、ウは1936年の出来事である。
 - 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約で、日本はロシアが持っていた長春以南の鉄道利権を獲得し、1906年に南満州鉄道株式会社(満鉄)を設立した。
 - 国家総動員法は、日中戦争の拡大・長期化を背景として制定された法律である。
- ### ② 日本地理総合
- 北海道や樺太(サハリン)、千島列島には、もともと先住民族のアイヌの人たちが住んでいた。アイヌの人たちは、独特的な文化を受け継いでいる。
 - 本州と四国を結ぶ橋を本州四国連絡橋という。瀬戸大橋は香川県(坂出)と岡山県(児島)を結ぶイが当てはまる。アは愛媛県(今治)と広島県(尾道)を結ぶ瀬戸内しまなみ海道、ウは淡路島と兵庫県(神戸)を結ぶ明石海峡大橋、工は徳島県(鳴門)と淡路島を結ぶ大鳴門橋である。
 - 阿蘇山のカルデラは、世界最大級の大きさをほこる。なお、桜島(御岳)は鹿児島県にある火山で、シラスは九州南部に広く分布する火山噴出物である。

- 4 (1) 択捉島, 国後島, 色丹島, 齧舞群島は北方領土とよばれ, 現在, ロシアが不法に占拠している。竹島は日本海に浮かぶ島根県の島で, 現在, 韓国が不法に占拠している。
- (2) 排他的経済水域とは, 領海をのぞく沿岸から200海里の水域で, 水域内の鉱産資源や水産資源などは沿岸国が管理することができる。沖ノ島島は, 満潮時に大小二つほどの陸が1メートルほど顔を出す非常に小さな島で, 島が消滅してしまうと, 日本の国土面積よりも広い排他的経済水域が失われることから, 波の侵食を受けないようにするため, 島の周囲に護岸工事がほどこされている。
- 5 松本城から見て, アはほぼ南東, イはほぼ北の方角にある。ウは見られない。
- 6 フォッサマグナの西端は, およそ新潟県糸魚川市と静岡県静岡市を結んだ線になることから, 糸魚川-静岡構造線ともいう。
- 7 中央高地の気候に属する甲府市は, 年間を通して降水量が少ないとからBに当てはまる。また, 中央高地の気候は, 夏よりも冬の降水量が少ないとから, Xが7月に当てはまる。
- 8 船は, 重量のあるものを大量に運ぶのに向いている。また, 貨物を多く運べる割にエネルギー消費量が少ないという点も船の特徴である。したがって, 船はⅡ, 海上輸送はⅢが当てはまる。
- 9 資源がとぼしい日本は, 原料を輸入し, 日本国内で製品を作つて輸出する加工貿易に長らく頼ってきたが, 安い生産拠点を求めて海外に工場を移転する動きが進んだことなどから, 近年では, 工業製品の輸入が増えている。
- 10 近郊農業は, 新鮮な農作物を, 輸送費をあまりかけずに大消費地に供給できるという利点がある。
- 11 野菜の輸入量も増えてはいるが, 日本ではレタスやキャベツなどの, 長期間の保存には向かない野菜の生産量・消費量が多いことから, 野菜の自給率は比較的高い水準を保っている。アは米, ウは肉類, イは小麦の自給率を示している。
- ③ 公民(現代社会, 日本国憲法)
- 1 AIは人工知能の略称である。人工知能とは, 多くの情報から推論したり判断したりする人間の知能の働きをコンピューターに持たせたものである。イのVRはバーチャルリアリティ(仮想現実), ウのICTは情報通信技術, イのIoTはさまざまなものがインターネットにつながっている状態を指している。
- 2 國際分業が高度化すると, 自國の商品だけでは生活が成り立たなくなり, 各国が互いに依存する状態になる。
- 3 日本では, 労働と子育ての両立が難しいこと, 晩婚化が進んでいることなどから少子化が進んでいる一

- 方, 医療技術の進歩などから平均寿命が伸び, 高齢化も進んでいる。そのため, 年を追うごとに0~14歳人口の割合が少なく, 65歳以上人口の割合が多い人口ピラミッドに変わっていく。また, 1960年と比べ, 2015年には, 親と子ども, あるいは夫婦だけの核家族世帯や単独世帯が増加する一方, 複数の世代で同居する世帯が減っている。したがって, 2015年を示しているのは, グラフ1はI, グラフ2はIVとなる。
- 4 観阿弥・世阿弥の親子は, 室町時代の3代将軍足利義満の保護を受けて, 能を大成した。アは鎌倉時代に金剛力士像をつくった人物, イは大仏造立に協力した奈良時代の僧, ウは室町時代に水墨画を完成させた人物である。
- 5 一般的に, アの端午の節句は5月, イの七五三は11月, ウの七夕は7月, イの節分は2月に行われる。
- 6 対立が生じたときは, 解決策を話し合い, 合意を形成しようとする。全員が納得できる合意を形成するためには, 「無駄を省く」効率の観点や, 「一人一人を尊重し, 不当に扱わない」公正の観点が満たされているかどうかが一つの判断基準になる。
- 7 グローバル化が進展すると, 文化的な背景が異なるさまざまな人と同じ社会集団の中で生活していくことになる。その際, 文化が異なるからといって排除するのではなく, 互いの文化的な違いを認め合い, 対等な関係を築こうとしながら, ともに生きていく多文化共生の姿勢が大切になる。
- 8 国民主権とは, 国民が国の政治を決定する権利を持つということである。大日本帝国憲法では, 天皇が主権者だったが, 日本国憲法では主権は国民にあると定められた。
- 9 (1) ルソーはフランスの思想家で, フランス人権宣言などに大きな影響をあたえた。
- (2) 公共の福祉とは, 社会全体の共通の利益であり, ほかの人の人権との衝突を調整するための原理のことである。
- 10 1945年8月に, 広島と長崎に原子爆弾を投下された日本は, 世界で唯一の戦争被爆国である。
- 11 国事行為には, 国会の指名に基づく内閣総理大臣の任命, 内閣の指名に基づく最高裁判所長官の任命などがある。
- 12 ア. 憲法改正原案は, 国会議員(衆議院100人以上, 参議院50人以上)の賛成により発議される。イ. 憲法改正原案は, 衆議院・参議院それぞれ総議員の3分の2以上の賛成を得て可決されると, 国会は憲法改正の発議を行う。ウ. 有効投票の過半数が賛成の場合, 憲法が改正される。

国語 解答・解説

【解答】		【配点】	
一 ① ゆる ② きば ③ きょうじゅん ④ せま ⑤ けんじ ⑥ 清貧 ⑦ 就職 ⑧ 障害 ⑨ 裁 ⑩ 聖歌		各 2 点	計 20 点
二 問一 四 問二 A 心細い身の上 B いつ何があるのかわから らない 問三 ウ 問四 イ		問一, 問四 = 各 2 点 問二 A, B = 各 3 点 問三 = 4 点 問五 = 8 点 問六 = 5 点	計 27 点
問五 (例) (須賀から) 祖母の具合が悪くなつて本土の病院に運ばれ たと聞き、驚きと不安の気持ちでいっぱいになつてゐる(様 子。)(四十五字)		問一 A, B = 各 2 点 問二 = 3 点 問三 = 4 点 問四 = 8 点 問五 = 5 点	計 24 点
問六 イ		問一, 問三 = 各 3 点 問二 A, B = 各 4 点	計 14 点
三 問一 A 情報摂取 B 書いた人の思考 問二 ア 問三 イ		問一 = 5 点 問二 = 10 点	計 15 点
問四 (例) (スマホの普及した現代では、) 分からないことをいつでも 調べることができ、その場で覚える必要がなくなったことで、 集中力に欠けている(から。)(四十九字)			
問五 イ			
四 問一 おわしませ 問二 A (例) 食べられる B (例) 危険 問三 ウ			
五 問一 (例) 全体の一割もなく、「そう思わない」人が五割程度(二十三 字) 問二 (略)			

【解説】

一 漢字の読み書き

- ① 「緩」の音読みは「カン」。
- ② 「騎馬」とは「馬に乗ること」。
- ③ 「恭順」とは「命令につつしんで従う態度をとること」。
- ④ 「狭」は「キョウ」という読み方もある。「挟」(「はさ(む)」)と間違えないようにする。
- ⑤ 「堅持」とは「考えなどをかたく守ること」。
- ⑥ 「清貧」は「自分勝手な欲をすべて行いが正しいた
めに、生活が貧しく質素であること」。
- ⑦ 「就」の訓読みは「つ(く)」。「就業」「就学」などの
熟語がある。
- ⑧ 「傷害」と書き間違えないように注意する。
- ⑨ 「裁」は他にも訓読みで「た(つ)」、音読みで「サイ」
という読み方もある。
- ⑩ 「聖火」と書き間違えないように注意する。

二 文学的文章の読解

- 問一 文節単位に分けると「今にも／雨が／降り出しそ
うな／天気だ」となる。
- 問二 前後の内容に注目する。航太は自分の気持ちのま
まに、高齢の祖母が本土から離れた島ではろくな治

療を受けられず、「いつ何があるのかわからない」と言つてしまつた。そのあと京の様子をみて、彼女
が「おじいさんと二人暮らし」であったことを思い
出した。父親と暮らす自分よりも心細いはずの京
に対して、自分の発言が無神経だったと気がつき、
はつとしたのである。

問三 「ばつが悪い」とは「きまりが悪くて、いづらい」
という意味。「強くならなくちゃ」と言う前向きな
京の考えを聞き、航太は「えらいな」と言った。京
に対する気遣いやお世辞で言った訳ではなかつたの
に、京が「どぎまぎ」してしまつたので、きまりが
悪くなつてしまつた。アは「言いたくないことを言
わせた」、イは「心外だった」、エは「驚いた」が、
それぞれ文章に合わない。

問四 「腹を決める」は「覚悟を決める」「決心する」と
いう意味。

問五 書き出しにうまくつながるよう、祖母が本土の病
院へ運ばれたと聞いたことを書き、そのうえで「体
中の血がなくなる」、「全身が冷たくなる」という表
現について説明する。ここでは祖母が危ない状況に
陥つたことを知って、航太が強い衝撃を受け、動搖
していることを表している。

問六 航太は手術を受ける祖母のことをしきりに心配し

ている。ところが、島が本土と海で隔てられているために、祖母が治療を受けるのにも、自分が駆けけるのも時間がかかってしまう。そのため、本土からやってくる船の「のどかな」「汽笛」の音にいら立ちを感じている。アは「自分と父親のふがいなさに」、ウは「祖母の思いに応えてあげられなかつた自分」、エは「住民たちの頑固さを一層強く感じ」が、それぞれ文章に合わない。

三 説明的文章の読解

問一 「シャドーイング」の効果は第二段落目に述べられている。「まねによって、情報摂取が非常に容易になってくる」とある箇所に着目して抜き出す。文体をまねて書き写す効果は第四段落目で述べられている。文章には「書いた人の思考が詰まって」いて、書き写すことで、「思考の深みをなぞ」ることができると述べている。

問二 「ちょっと」とア「ゆっくり」は副詞。イは連体詞、ウは形容詞、エは接続詞。

問三 過去の人々は膨大な量の情報を「口伝え」で伝承してきた。そのような能力について「私たちには不可能のように思いますけれども、もしかしたら文字に頼らない文化の人たちは、聞かれたことをそのまま覚えて、また再現する能力に非常に長けているのかもしれません」と述べている箇所に着目する。アは「聞き取る能力は現代人と同様である」、ウは「何か他の有効な手段があったに違いない」、エは「ごく一部の高位の人々は」が、それぞれ文章に合わない。

問四 直前の内容に注目すると、スマホでいつでも情報にふれられることで「覚えなくていい」と考えるようになり、その結果集中力に欠けてしまうとあるので、この内容を使ってうまくまとめる。

問五 この文章ではまねること(=模倣)の効果について説明し、これから時代の人々に求められる力を述べている。文章の中盤では、『古事記』や『イリアス』の例を挙げつつ、前世代の人の言ったことをまねして膨大な情報を記憶していた古代の人々と、集中力に欠けている現代人を対比している。そのうえで文章の終盤では、創造性の発揮にはたくさんの記憶や知識が役立つことを述べ、「理解ということ 자체が、まねる力が問われている」としている。アは「特に文学の分野においては、それによってより高度で複雑な思考の表現が可能になる」、イは「聞く

能力を高める上では模倣する姿勢は必要ない」、ウは「ある程度の限界があることを認めつつ」が、それぞれ文章に合わない。

四 古典の読解

ある池の中に、蛇と亀が蛙と知り合いで住んでいた。世の中が日照りに見舞われ、池の水もなくなり、食べ物もなく、飢え死にしそうになり、何もすることができないときに、蛇が(蛙のところへ)亀を使者に立てて「ちょっとおいで下さい。お目にかかりたい」と言うと、蛙は、「(蛇は)飢えに苦しんでいるから、仁義はそっちのけで、食べることばかり考えている。情けをかけるのも親しく付き合うのも、普通に暮らしている時のことだ。このような時節なので、伺えない」と返事をしたのであった。なるほど、命が危ない訪問である。

問一 古文中のハ行の言葉は、語頭と助詞を除いて現代語ではワ行で表す。

問二 蛙は、日照りが続いて水も食べ物もない時節であったので、蛇が自分を食べようとして呼び寄せているとを考えた。それは「あぶなき見参」であり、蛙は自らの命を守るために蛇からの誘いを断った。

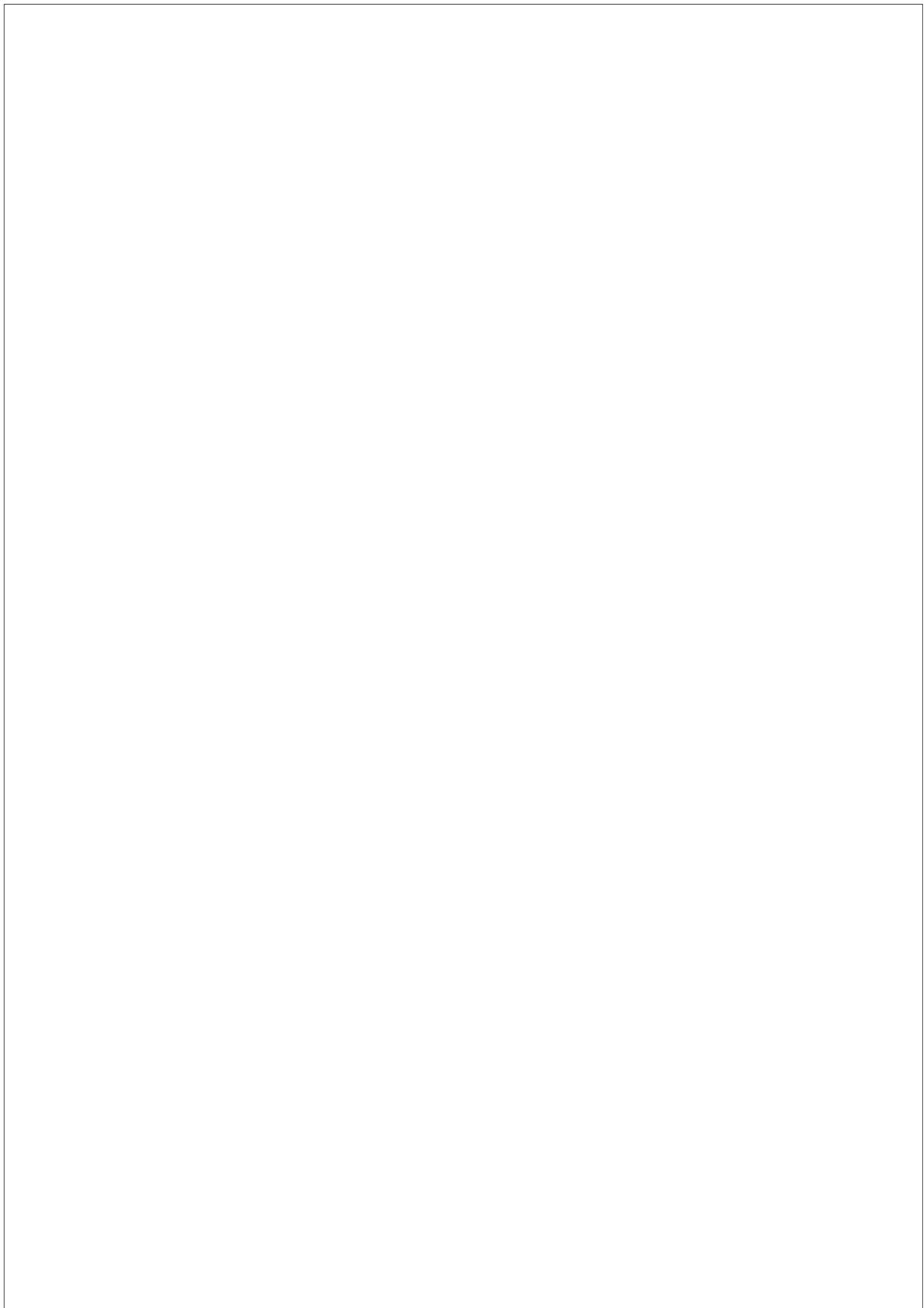
問三 蛙は日照りと飢えが続いている状況を踏まえて、たとえ蛇と知り合いであっても、今蛇のもとへ行くと命の危険があると判断し、誘いを断った。行動をする前に、その時の状況を適切に判断することの大切さを説いているため、ウが正解。

五 資料の読解と作文

問一 空欄の直前を踏まえ、「楽しく話せるときがある」と「困ったときは助けてくれる」の項目で「そう思う」人の割合に注目する。空欄の後には「『どちらかといえばそう思わない』人と合わせると全体の七割を超える」とあるため、「そう思わない」人の割合についても説明する。

問二 作文を書く際には、なるべく具体的な内容を分かりやすく書くようにすることが大切である。難しいことや複雑な内容を書こうとする必要はない。また、誤字や脱字があると減点対象になるので、書き終えた後には必ず読み返して、誤っている部分がないかどうかを確かめることが大切である。

MEMO



MEMO

